

広報委員会 発行

関西大学通信

大阪府吹田市山手町3丁目
関西大学広報委員会

第一次諮問事項に対する答申

大学改革具体化へ

「関西大学通信」第十九号で既報のように、大学改革の具体化のため、昭和四十六年四月三十日に「改革調査委員会」が発足し、学長から付託された第一次諮問事項に検討を重ねてきたが、予定通り八月三十一日付をもって答申を学長に提出した。

広報委員会は、答申全文を発表しようとの学長の意向を受けて、学生諸君にひろく内容を知ってもらうため、ここに全文を掲載する。

緒言

改革調査委員会は、全学的合意を得た「大学改革の進め方に関する了解事項」(昭和四十六年四月七日)にもとづいて、学長の諮問機関として設置され、同四月三十日に発足した。本委員会成立に至る経緯については「関西大学通信第十九号(昭和四十六年五月二十五日発行)」に詳しく掲載されているので、ここでは重複をさけるが、委員会に課せられた任務として、前の

改革調査委員会第一次答申

(昭和四十六年八月三十一日)

目次

緒言	第一章 入学試験制度の改善について
一 学力検査について	二 改革の基本方向
二 具体的な提案	三 調査書の活用について
三 調査書の活用について	四 調査書を活用し得る見通し
四 調査書を活用し得る見通し	三 結論
三 結論	III 一 高特別選考試験について
III 一 高特別選考試験について	二 改革の基本方向
二 改革の基本方向	二 具体的な提案
二 具体的な提案	IV 入学試験体制について
IV 入学試験体制について	一 現行体制の問題点と改革の基本方向
一 現行体制の問題点と改革の基本方向	二 具体的な提案
二 具体的な提案	第二章 一般教育等の改善について
第二章 一般教育等の改善について	I 一般教育の現状
I 一般教育の現状	II 一般教育の目標
II 一般教育の目標	III 当面の諸問題
III 当面の諸問題	一 くさび型時間割の編成について
一 くさび型時間割の編成について	二 総合科目の設置について
二 総合科目の設置について	三 基礎科目の分離について
三 基礎科目の分離について	四 外国語科目について
四 外国語科目について	五 保健体育科目について
五 保健体育科目について	六 教養改革委員会(仮称)の設置について
六 教養改革委員会(仮称)の設置について	七 その他
七 その他	第三章 学生生活の充実と向上に関する組織および運営について
第三章 学生生活の充実と向上に関する組織および運営について	まえがき
まえがき	I 厚生補導に関する基本的考え方
I 厚生補導に関する基本的考え方	II 厚生補導に関する組織について
II 厚生補導に関する組織について	III 基本的考え方
III 基本的考え方	IV 改組についての提案
IV 改組についての提案	IV 領域内における内容について
IV 領域内における内容について	一 領域内における内容について
一 領域内における内容について	二 領域内における内容について
二 領域内における内容について	IV その他
IV その他	一 現行懲戒処分制度の問題点
一 現行懲戒処分制度の問題点	二 学籍異動の取り扱いについて
二 学籍異動の取り扱いについて	付記
付記	第四章 第二部教育の基本的問題について
第四章 第二部教育の基本的問題について	I 歴史
I 歴史	II 現状
II 現状	III 対策
III 対策	後記
後記	改革調査委員会委員名簿

第一章 入学試験制度の改善について

I 学力検査について

分もあるが、改善実施を焦るべき事項が含められていないことを配慮し、本委員会としては、以下にその答申を示し、一応の責務を果たすこととした。本学の輝かしい伝統の蔭

に横たわる障害を除去する。本委員会としては、この答申に盛り込まれたさまざまな成果が、当面改革を要すべき問題点に対する新しい一つの方向づけを示す指標として取り上げられることを期待するものである。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

従来、大学入試は、ほとんど学力検査のみによって行われてきた。けれども、学力検査偏重の入試方法については、種々の弊害が指摘され、その学校教育に及ぼす悪影響が社会的に大きな問題とされてきた。

